

独立行政法人 国立病院機構
大阪南医療センター 特定行為研修

2026 年度 募集要項

看護師特定行為研修の概要

国立病院機構は、「私たち国立病院機構は、国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のためにたゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに患者さんの目線に立って懇切丁寧に医療を提供し、質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます。」の理念のもと、急性期医療からセーフティネット分野の医療を担い、地域医療に貢献してきました。

医療を取り巻く環境が変化しても、患者や地域住民が必要とする医療を安定的かつ継続的に提供していく上では、医療提供体制の充実・強化が必要不可欠です。また、医療の質を向上させ、維持するために、未来を担う医療人の育成は国立病院機構の責務と考えます。これらの使命を果たすべく、国立病院機構は看護師特定行為研修を推進することとしました。

<研修理念>

国立病院機構病院 看護師特定行為研修（以下「本研修」という）は、チーム医療の要である看護師が、医療機関や在宅において患者や利用者の状態・状況を自律的に判断し、特定行為の実施も含めた適切な医療を提供することにより、これからの時代に望まれる医療の実現に向けて役割が果たせることを目指します。なかでも、特定行為の実施にあたっては、研修後も自己研鑽を重ね、より安全で質の高い看護の提供を探求する姿勢を養うことを重視します。また、本研修は地域医療構想の実現、地域包括ケアシステムの構築に貢献できる看護師の育成を、地域の医療機関とともに連携・協働して行っていくものとし、地域における医療人の育成に貢献していきます。

<研修目的>

医師の包括的な指示のもと、診療の補助（特定行為）が安全かつ医療倫理に基づき実施できる基礎的能力を養う。

<研修目標>

1. 多様な臨床場面において、対象の病態とその変化を迅速かつ包括的にアセスメントできる。
2. 多様な臨床場面において、必要な治療を理解した上で、対象の状態に応じた対処を導くことができる。
3. 多様な臨床場面において、患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践できる。
4. 対象の問題解決に向けて、多職種の専門性を尊重し、効果的に協働することができる。
5. 自らの看護実践を検証し、判断力・技術力の向上及び標準化するための能力を身につける。

<研修内容>

1. 共通科目

科目名	時間数
臨床病態生理学	31.5 時間
臨床推論	46 時間
フィジカルアセスメント	46 時間
臨床薬理学	46 時間
疾病論・臨床病態論	41 時間
医療安全学	45 時間
特定行為実践	
小 計	255.5 時間

* 共通科目は、講義・演習（e-ラーニング）、実習で構成されます。時間数には筆記試験時間を含みます。

* 実習の一部は、自施設で行うことがあります。

2. 区分別科目

	特定行為区分	特定行為	時間数	症例数
術中麻酔管理領域 大阪南パッケージ	呼吸器（気道確保に係るもの） 関連	経口用気管チューブ又は 経鼻用気管チューブの位置の確認	16.5 時間	5 症例
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの） 関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	19 時間	5 症例
		人工呼吸器からの離脱		5 症例
	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	27 時間	5 症例
		橈骨動脈ラインの確保		5 症例
	栄養及び水分管理に係る薬剤 投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	12 時間	5 症例
	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる 鎮痛剤の投与及び投与量の調整	9 時間	5 症例
	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の 調整	33 時間	5 症例
		持続点滴中のナトリウム、カリウム又は クロールの投与量の調整		5 症例
		持続点滴中の降圧剤の投与量の調整		5 症例
持続点滴中の糖質輸液又は 電解質輸液の投与量の調整		5 症例		
持続点滴中の利尿剤の投与量の調整		5 症例		
(内) 症例前実習		(14 時間)		
小計			116.5 時間	60 症例

	特定行為区分	特定行為	時間数	症例数
救急領域パッケージ	呼吸器（気道確保に係るもの） 関連	経口用気管チューブ又は 経鼻用気管チューブの位置の確認	16.5 時間	5 症例
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの） 関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	33 時間	5 症例
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更		5 症例
		人工呼吸管理がなされている者 に対する鎮静薬の投与量の調整		5 症例
		人工呼吸器からの離脱		5 症例
	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	27 時間	5 症例
		橈骨動脈ラインの確保		5 症例
	栄養及び水分管理に係る薬剤 投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	12 時間	5 症例
精神及び神経症状に係る薬剤 投与関連	抗けいれん剤の臨時的投与	18 時間	5 症例	
(内) 症例前実習		(14 時間)		
小計			106.5 時間	45 症例

	特定行為区分	特定行為	時間数	症例数
区分別	呼吸器（気道確保に係るもの） 関連	経口用気管チューブ又は 経鼻用気管チューブの位置の確認	16.5 時間	5 症例
		(内) 症例前実習		
小計			16.5 時間	5 症例

	特定行為区分	特定行為	時間数	症例数
区分別	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの） 関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	33 時間	5 症例
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更		5 症例
		人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整		5 症例
		人工呼吸器からの離脱		5 症例
	(内) 症例前実習		(4 時間)	
小計			33 時間	20 症例

	特定行為区分	特定行為	時間数	症例数
区分別	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	27 時間	5 症例
		橈骨動脈ラインの確保		5 症例
	(内) 症例前実習		(3 時間)	
小計			27 時間	10 症例

	特定行為区分	特定行為	時間数	症例数
区分別	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	33 時間	5 症例
		持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整		5 症例
		持続点滴中の降圧剤の投与量の調整		5 症例
		持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整		5 症例
		持続点滴中の利尿剤の投与量の調整		5 症例
	(内) 症例前実習		(5 時間)	
小計			33 時間	25 症例

	特定行為区分	特定行為	時間数	症例数
区 分 別	創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血 流のない壊死組織の除去	38 時間	5 症例
		創傷に対する陰圧閉鎖療法		5 症例
	(内) 症例実習オリエンテーション		(1 時間)	
小計			38 時間	10 症例

* 区分別科目は、講義・演習（e-ラーニング）、実習で構成されます。時間数には筆記・実技試験時間を含みます。

* 区分別科目を履修するためには、共通科目の全科目に合格している必要があります。

* 各症例については、自施設または実習協力が可能な他施設で実習を行います。

<研修修了要件>

各科目における出席時間が当該科目時間数を満たしたうえで、各科目に定める修了試験（筆記試験・実技試験・実習評価等）に合格すること。

<研修期間>

2026年10月1日(木) ～ 2027年9月30日(木)

<研修日程>

2026年10月1日 開講式 ガイダンス 共通科目受講開始
 2027年3月下旬 共通科目修了 区分別科目受講開始
 2027年6月 臨地実習開始
 2027年8月下旬 臨地実習修了 区分別科目修了
 2027年10月1日 修了式

<研修場所・実習施設>

集合研修(演習等) : 大阪南医療センター TV会議室
 e-ラーニング受講 : 自宅又は自施設、大阪南医療センター TV会議室
 臨地実習 : 自施設または実習協力が可能な他施設

<研修経費>

1. 受講料

共通科目受講料		330,000円	
区分別科目受講料	独立行政法人国立病院機構の病院に所属する者	術中麻酔管理領域 大阪南パッケージ	175,000円
		救急領域 パッケージ	150,000円
		区分単体 呼吸器(気道確保に係るもの)関連	25,000円
		区分単体 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	25,000円
		区分単体 動脈血液ガス分析関連	25,000円
		区分単体 循環動態に係る薬剤投与関連	25,000円
		区分単体 創傷管理関連	25,000円
	独立行政法人国立病院機構以外の施設に所属する者	術中麻酔管理領域 大阪南パッケージ	440,000円
		救急領域 パッケージ	350,000円
		区分単体 呼吸器(気道確保に係るもの)関連	50,000円
		区分単体 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	100,000円
		区分単体 動脈血液ガス分析関連	70,000円
		区分単体 循環動態に係る薬剤投与関連	100,000円
		区分単体 創傷管理関連	100,000円

2. その他

- 1) 必須で追加購入する書籍等はありません。
- 2) 研修のための宿泊及び交通費等は自己負担となります。

<その他>

1. 履修免除について

他の特定行為研修指定研修機関における学習内容が、本研修の学習内容に相当するものと認められる場合、共通科目に限り履修免除となることがあります。該当する方は、以下の書類を出願書類と併せて提出してください。

1) 履修免除申請書（指定用紙：様式 7）

2) 特定行為研修修了証

3) 特定行為研修成績報告書

4) 教材の視聴管理システムによる視聴履歴

＊書類 3) 4) がお手元がない場合、ご自身が修了した特定行為研修指定研修機関へご確認ください。

＊5年以内の視聴履歴に限る

2. 看護職賠償責任保険について

本研修の受講決定後は、開講式までに看護職賠償責任保険に加入してください。

応募要領

1. 受講資格

次の1)～4)に定めるすべての要件を満たしていること

- 1) 日本国内における看護師免許を有すること
- 2) 看護師免許取得後、3年以上の実務経験を有すること（2026年4月1日現在）
- 3) 所属施設長の推薦があること

2. 募集人員 8名（術中麻酔管理領域2名 救急領域4名 区分別2名）

3. 試験日 2026年8月4日（火）

4. 試験科目 小論文（800字程度）、面接試験

5. 出願手続

1) 出願期間 2026年6月1日（月）～2026年7月10日（金）消印有効

2) 出願書類

- ① 受講申請書（指定用紙：様式1）
- ② 履歴書（指定用紙：様式2）
- ③ 志願理由書（指定用紙：様式3）
- ④ 推薦書（指定用紙：様式4）
- ⑤ 実習施設情報（指定用紙：様式5）
- ⑥ 受験票（指定用紙：様式6）
- ⑦ 受験写真票（指定用紙：様式6）
- ⑧ 看護師免許の写し（A4サイズ）
- ⑨ 返信用封筒
- ⑩ 振込明細書

3) 審査料

銀行窓口またはATMにて、審査料20,000円を下記の振込先へ出願期間内に振り込んでください。

手数料は自己負担となります。

振込者の氏名は受講者ご本人の名前で、また、氏名の前に「特定行為研修」と入れて振り込んでください。

（振込先）

金融機関名 三菱UFJ銀行 河内長野支店

預金種類 普通

口座番号 4902097

口座名義 独立行政法人 国立病院機構 大阪南医療センター

ドクリツギョウセイホウジン コクリツビョウインキコウ オオサカミナミイリョウセンター

4) 出願書類の書き方

(1) 受講申請書：指定用紙（様式1）

- ① 「申請者氏名（ふりがな）」は、本人が署名し押印してください。
- ② 「年月日」は記載日を記入してください。

(2)履歴書：指定用紙（様式2）

- ①年齢は、2026年10月1日現在で記入してください。
- ②電話番号は、いつでも連絡がとれる番号をいずれか1つは記入してください。
- ③一般学歴・専門学歴は、いずれも最終学歴を記入してください。
- ④職歴は、正式な施設名と診療科、勤務期間を記入してください。
- ⑤写真は6か月以内に撮影したもの（縦4.5mm×横3.5mm、裏面に氏名記載）を貼付してください。

(3)志願理由書：指定用紙（様式3）

- ①「志願理由」は、臨床看護の経験を含めて、具体的に記載してください。（800字以内）
- ②「年月日」は記載日を記入してください。

(4)推薦書：指定用紙（様式4）

- ①「年月日」は書類発行日を記入してください。
- ②推薦者氏名には、施設長の氏名を記入し、施設長印を押印してください。
- ③「推薦理由」は、「受講希望者の看護実践能力、研修修了後の期待される役割等」を具体的に記載してください。
- ④推薦書は「厳封」にて準備してください。開封すると無効になるので、厳封のまま送付してください。

(5)実習施設情報：指定用紙（様式5）

- ①実習を行う予定の施設リスト
 - ・実習を行う場所（自施設または実習協力が可能な他施設）を記載する。
- ②受講を希望する特定行為に関する施設情報
 - ・受講するすべての科目について施設情報を記載する。
 - ・実習を行う施設の番号を記載する。実習する施設がない区分別科目は、⑤と記載する。
 - ・各特定行為について、直近2か月間で特定行為の対象となる患者が5例以上いる場合は○をつける。
 - ・本研修の臨地実習と修了後の指導体制を確認するため、受講申請時点での指導者確保の可能性について、指導者*がいる場合に○をつける。
*指導者：「医師の臨床研修に係る指導医講習会」を受講している医師、または臨床経験が7年以上で、医学教育・医師臨床研修における指導経験を有する医師

(6)受験票：指定用紙（様式6）

- ①氏名（ふりがな）、生年月日を記入してください。

(7)受験写真票：指定用紙（様式6）

- ①「履歴書」に使用したものと同一写真を貼付してください。
- ②氏名（ふりがな）、生年月日を記入してください。

(8)看護師免許証の写し

- ①看護師免許（原本）をA4サイズに縮小し複写したものを提出してください。

(9)返信用封筒

- ①受験票送付用封筒に、受験者の郵便番号・住所、氏名を記入し、速達郵便額相当分の郵便切手を貼ってください。
封筒の送付先は、受験者へ確実に届く住所を記入してください。

5) 出願方法

出願書類を一括して封筒に入れ、書留郵便での郵送又は持参してください。
封筒の表の左側に、「特定行為研修受験書類在中」と朱書きしてください。

6) 注意事項

- (1)試験日の4日前になっても受験票が届かない場合は、下記へお問い合わせください。
独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター 特定行為研修担当
電話（代表）0721-53-5761
- (2)一旦納入した審査料及び提出書類は、返還できません。

6. 選考方法

小論文、面接試験の結果及び出願書類を総合し、合否判定基準に基づき判定します。

7. 試験会場及び時間割等

1) 試験会場

独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター TV 会議室

2) 時間割

試験科目	時間
受付 (5分)	13:30 ~ 13:35
オリエンテーション (10分)	13:35 ~ 13:45
小論文 (60分)	13:45 ~ 14:45
面接オリエンテーション (15分)	14:45 ~ 15:00
面接(原則、受験番号の早い順で計画)	15:00 ~ 終了まで

3) 試験に持参するもの

①受験票

②筆記用具(鉛筆・シャープペンシル、消しゴムを準備してください)

4) 試験時の注意点

(1)試験中は、携帯電話の電源を切ってカバンに入れてください。

(2)試験中は、係員の指示に従ってください。

8. 合格発表・入講手続

1) 合格発表日 2026年9月1日(火)

(1)大阪南医療センターのホームページに14時に合格者受験番号を掲示します。

(2)同日、合否結果を本人及び推薦者の施設長宛に通知文書を郵送します。

(3)電話での合否の問い合わせには応じられません。

2) 入講手続

(1)手続期間 2026年9月1日(火) ~ 2026年9月15日(火)

(2)入講に係る手続きについては、合否結果の通知文書に書面を同封し案内します。

9. その他

1) 提出された書類により得られた個人情報は、受講審査関連のために利用し、その他の目的には一切使用しません。

2) 大阪南医療センターのホームページから、出願書類をダウンロードできます。

<https://osakaminami.hosp.go.jp/>

10. 試験に関する書類の送付先及び問い合わせ先

1) 送付先

〒586-8521

大阪府河内長野市木戸東町2-1

独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター 特定行為研修担当

2) 問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター

管理課 松村武郎

電話(代表): 0721-53-5761

*祝祭日を除く月~金曜日の8:30~17:15までにご連絡ください。

E-mail: matsumura.takero.wu@mail.hosp.go.jp